

## 河川におけるごみ状況調査

### 1 目的

- 海岸漂着物の多くは、陸域にあるごみ等や流木が、海へとつながる水の流れを通じて海岸に漂着するもの、海岸利用者によるごみ散乱・不法投棄によるものと考えられる。
- そこで、陸域のごみの海への流出状況を把握するため、漂流経路である河川におけるごみの種類別（生活系、自然系等）の回収量を分析し、各河川付近の発生状況を把握することを目的とした調査を実施することとした。
- 来年度以降、この調査結果を活用して、海岸漂着物の発生抑制を県民に呼びかけるための普及啓発活動を実施する。

### 2 調査計画

#### (1) 調査実施内容

河川区域内のごみの収集、分別及び運搬・処分をし、ごみの分布範囲や分類毎の量を把握する。

##### ア 収集

収集範囲について、原則人が徒歩で進入できる範囲で作業を行う。水中部及び水際での収集については、タモ等を用いて収集できる範囲を行う。また、アシ原や中洲での作業は徒歩で進入できる範囲及び危険の無い範囲で行う。

##### イ 分別

別紙様式-1 に示す 11 項目に分類し、収集した箇所毎及び分類毎に計量した結果を様式-1 にまとめる。

#### (2) 調査実施箇所

別紙「調査実施箇所図」参照

#### (3) 調査スケジュール

平成 26 年 1 月 調査実施

平成 26 年 3 月 調査実施結果とりまとめ

## 調査実施箇所図



	調査実施河川
1	新川
2	合瀬川
3	青木川
4	光堂川
5	三宅川
6	日光川
7	阿久比川
8	乙川
9	青木川
10	境川
11	逢妻川
12	猿渡川
13	市木川
14	逢妻女川
15	犬伏川
16	梅田川
17	音羽川
18	朝倉川

様式-1 分別総括表

河川名: \_\_\_\_\_

区間: \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_

単位: kg

No.	大分類	分類	水際又は水際のアシ原等	中洲部	法面・高水敷部 (コンクリート・グラウンド等)		法面・高水敷部 (植生)	
					道路あり	道路なし	道路あり	道路なし
1	生活系	ペットボトル						
2		空き缶						
3		ビン						
4		食品の包装・容器						
5		ごみ袋一式						
6		その他生活雑貨						
7	事業系又は分類不能	農業系						
8		プラスチック系(発砲スチロール等)						
9		金属類(缶類等)						
10		その他						
11	自然系	草・木						

